

入間市の 姉妹都市・友好都市



新潟県佐渡市



**ドイツ連邦共和国バイエルン州
ヴォルフラーツハウゼン市**



**中華人民共和国
浙江省奉化区**



新潟県佐渡市

姉妹都市提携の経緯

姉妹都市提携年月日

昭和61年(1986年)10月12日

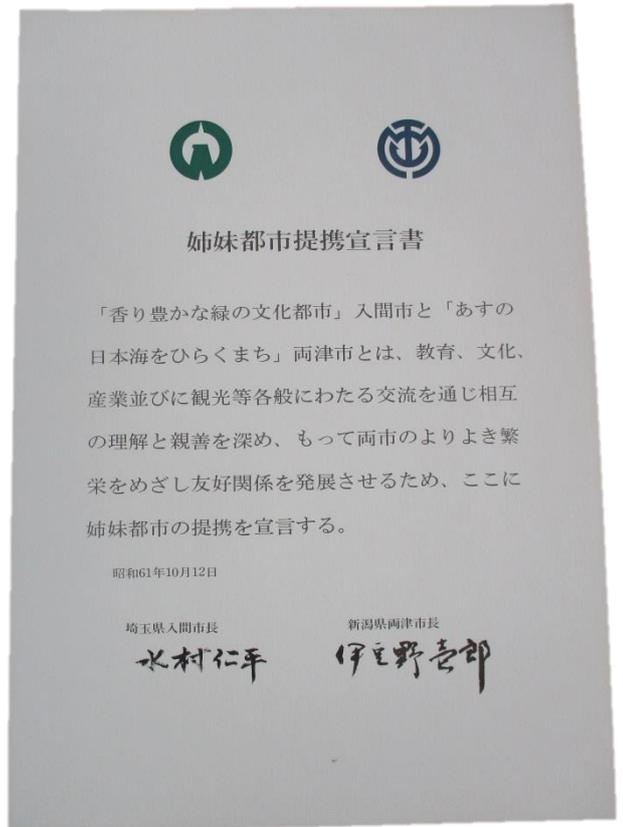
入間市は、市制施行20周年記念事業の一環として、新潟県佐渡市(旧両津市)と姉妹都市提携を行いました。

20周年記念事業推進委員会から「埼玉県には海がないことから、海のある都市が望ましい」旨の答申を受け、おりしも関越自動車道・上越新幹線の開通により交通の便が向上し、市民交流が図り易くなった新潟県下の海に面した都市に候補をしばりました。

そして、入間市の呼びかけにに応じてくれた、豊かな自然に恵まれ、これを生かして農林水産や観光の振興を図っている新潟県両津市

(現在の佐渡市)と昭和61年10月12日に姉妹都市として提携しました。

その後、平成16年3月1日に佐渡市に合併した後も、両市の交流は継続されました。平成23年には、姉妹都市提携25周年を迎え、「姉妹都市提携25周年を契機として更なる推進を図る」ことを両市長が確認し、交流推進宣言書に調印しました。平成28年には、姉妹都市提携30周年を迎え、両市で記念イベントを実施し、食や文化を通じて更なる交流の推進を図りました。



■ イベント交流事業の様子



■ 姉妹都市提携30周年記念
「佐渡芸能まつり in Mando」



■ 青少年交流事業
「佐渡市サマーキャンプ」の様子

佐渡市とは

佐渡市は、平成 16 年、姉妹都市旧両津市と 7 町 2 村が合併し誕生しました。新潟港から 67 km（カーフェリーで 2 時間 30 分、ジェットfoilで 1 時間）の海上にある佐渡市は、面積 855 k㎡（東京 23 区の約 1.4 倍）、人口約 56,300 人、金と銀の島、トキが暮らす島、海の幸、山の幸にも恵まれ、輝かしい歴史と文化に彩られた都市です。入間市との交流は、物産品の紹介、郷土芸能、文化・スポーツ団体等の市民交流が活発に行なわれています。



入間市では、入間市民のうるおいとやすらぎのため、佐渡市内で提携している宿泊施設の割引サービスがあります。詳細については、市公式ホームページ「入間市指定保養所情報（佐渡市）」をご覧ください。



佐渡市の花・カンゾウ





ドイツ連邦共和国 ヴォルフラーツハウゼン市

姉妹都市提携の経緯

姉妹都市提携年月日

昭和62年(1987年)10月14日

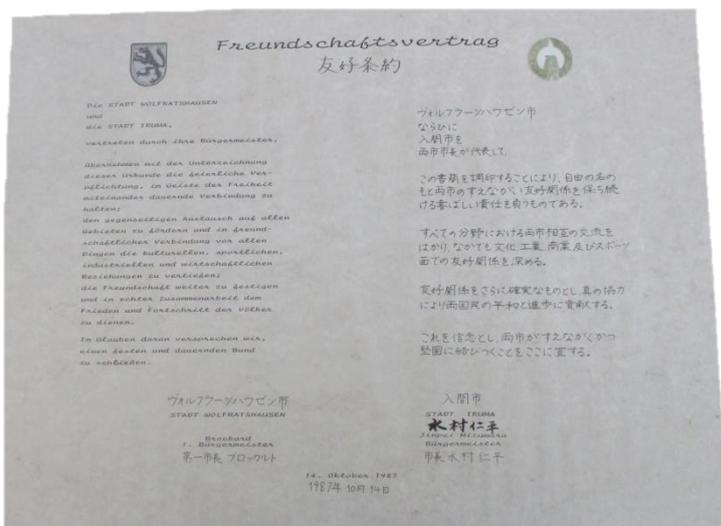
入間市は、市制施行20周年記念事業の一環として、ドイツ連邦共和国ヴォルフラーツハウゼン市と姉妹都市提携を行いました。

市内にある武蔵野音楽大学と親交のあるミュンヘン音楽大学のツィルヒ教授に数ヶ所の候補を挙げて貰い、その中でも、同教授に「最も相応しい都市」と推奨された、ドイツ連邦共和国ヴォルフラーツハウゼン市に絞り込むこととなりました。

その後、昭和61年5月に入間市長一行がヴォルフラーツハウゼン市を訪問して提携を申し入れ、昭和62年10月14日、友好条約に調印しました。

両市の交流は継続して行われ、平成29年には姉妹都市提携30周年を迎えました。そして、ヴォルフラーツハウゼン市にて「30周年記念式典」が開催され、入間市の公式訪問団と多くのヴォルフラーツハウゼン市民との間で、これまでの深く刻まれた絆を確認し合い、30周年を祝いました。その式典では、両市長による新たな姉妹都市証書に署名が行われ、これからの友好関係の発展を誓いました。

30年間という長い歳月を通し、青少年交流、市制施行周年式典、入間万燈まつりをはじめとする各種事業で両市民の交流は、1,000名を超えるまでになりました。



■ ヴォ市の街並み



■ ヴォ市市民による
友好日本庭園の管理の様子



■ 姉妹都市提携30周年
姉妹都市証書への署名の様子

ヴォルフラーツハウゼン市とは

ヴォルフラーツハウゼン市は、羽田空港からミュンヘン直行便で約12時間、ミュンヘンから南へ30km（電車で40分・車で50分）に位置し、面積8.74km²（豊岡地区程度）、人口約19,100人の都市です。農業主体でアルプスの山々が近くに見える田園風景の美しい街で、近年はミュンヘンで働く人々の高級住宅地としても発展しています。また、緑が多く自然環境に富んでおり、まさしく入間市が目指す「香り豊かな緑の文化都市」のイメージに相応しい都市です。



ヴォ市・ロイザッハ川



ヴォ市の青空



青少年交流事業 ヴォ市庁舎訪問



青少年交流事業 ミッテンヴァルト視察



入間市の芸能団体と記念写真



ヴォ市万燈まつり訪問団 富士山視察



中華人民共和國 奉化区

友好都市提携の経緯

友好都市提携年月日

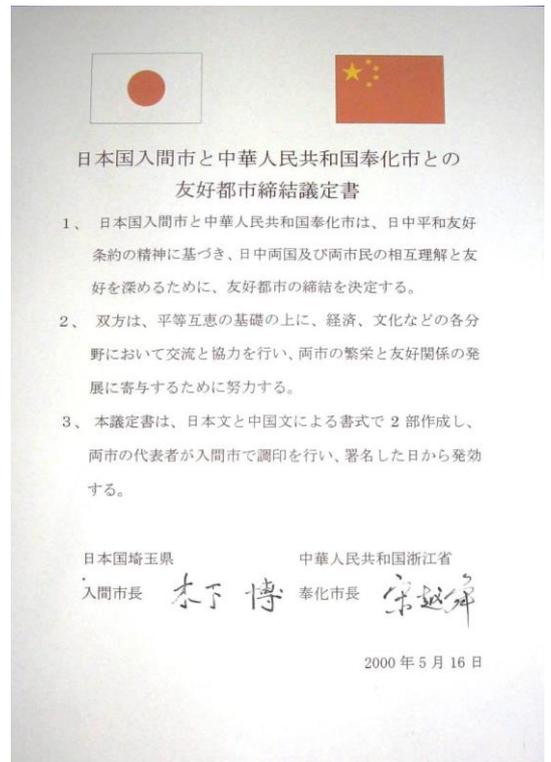
平成 12 年(2000 年)5 月 16 日

入間市は、活発に民間交流が行なわれて来た中華人民共和国奉化市と友好都市締結を行いました。平成 8 年に「入間市奉化市友好交流協会」が設立され、その後、両市民が相互に訪問を繰り返すなど、主に民間による交流が活発に行われて来ました。

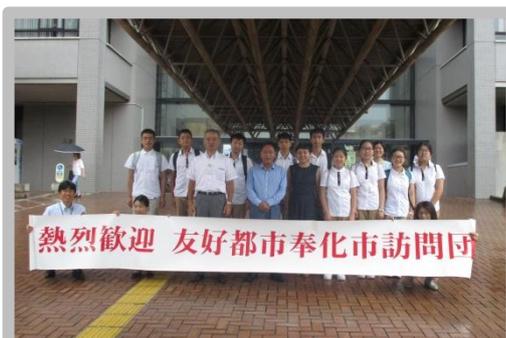
そして、平成 11 年に奉化市から友好都市締結が要請されたのを受け、平成 12 年 5 月 16 日に友好都市締結議定書に調印し、入間市と奉化市は友好都市となりました。

その後、両市の交流は定期的に行われ、奉化市訪問団が入間万燈まつりに参加するなど、市民間交流を深めてきました。平成 17 年度には中学生を対象とした、青少年交流事業が始まりました。これは青少年を交互に派遣し合い、訪問先の一般家庭にホームステイし、異文化体験を行うものです。平成 24 年度には対象者を高校生にまで広げるなど交流を拡大しました。

平成 28 年 11 月 27 日には、区制施行により、奉化市から奉化区に行政区分が変更となりました。



■奉化区・溪口の千丈岩と滝



■青少年交流事業【受入】

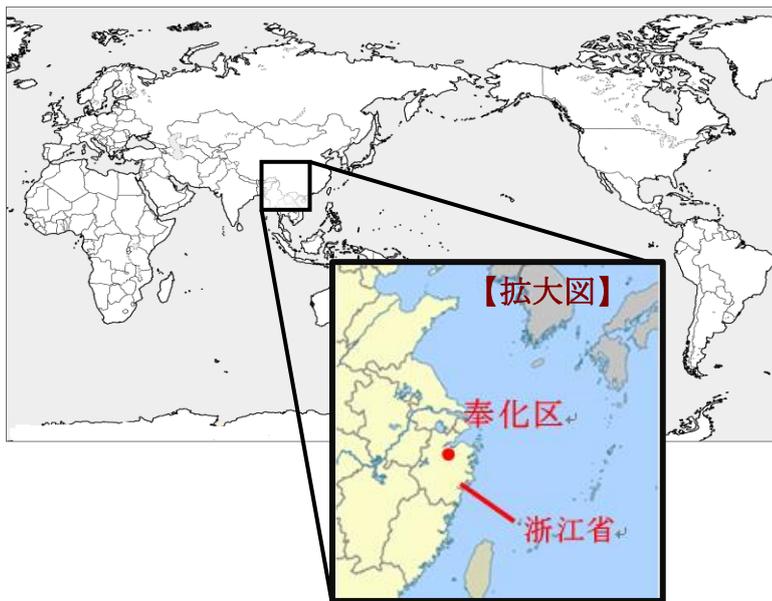


■青少年交流事業【派遣】

奉化区とは

奉化区は、成田空港から杭州空港まで約 3 時間 30 分、そこから車で 2 時間 30 分、大都市の上海から南へ 300 km に位置した、人口約 483, 000 人、面積 1, 277 k m² で、名所旧跡に恵まれた都市です。

長い歴史と高い縫製技術を持った高品質の衣料産業が有名であり、さらに水蜜桃や里芋などが特産物として知られています。特に水蜜桃は名高く、「中国水蜜桃の郷」と称されています。また、蒋介石の故郷であり、布袋様と係わりの深い地でもあります。2008 年には雪竇寺に 56. 7m の弥勒大仏が建立され、多くの観光客が訪れています。



奉化区・弥勒大仏



奉化区青少年、入間市でのお茶体験



奉化市訪問交流ツアー



奉化区中学生・防災訓練参加



奉化区中学校での視察



奉化区青少年・市長表敬訪問



奉化区の街並み

Iruma International Friendship Society 入間市国際交流協会



I-Society(アイソサエティ)とは?

入間市国際交流協会は、平成9年(1997年)5月、入間市姉妹都市交流委員会を改編し設立されました。入間市国際交流協会は、Iruma International Friendship Societyと英語表記をしており、Irumaの“I”及びInternationalの“I”とSocietyから“I-Society”という略称を使用し、様々な活動を行っています。

協会の目的

幅広い分野において、国際交流を推進し、国際理解と国際親善をはかること、在住外国人の支援をはかること、及び入間市が姉妹都市・友好都市提携した都市との幅広い交流を通じて、両市民間の相互理解と友好親善を図ることを目的としています。

組織と活動

市民スタッフ会議において事業計画を立案し、その後、理事会を経て総会にて事業計画等を決定しています。また、市民スタッフは次の4つの部会に分かれて様々な活動に取り組んでいます。

1. 在住外国人支援部会
2. 姉妹都市・友好都市交流部会
3. 文化交流部会
4. 広報部会

入会について

入間市国際交流協会では、随時、会員を募集しています。入会の際は、申込書と年会費を下記の事務局までお持ちください。

※申込書は事務局またはホームページから取得できます。

年会費(年度ごと) 個人1,000円 団体5,000円 法人10,000円

会員には、年4回、国際交流ニュースが送付されます。ニュースには、催し物情報等が掲載されています。また、協会事業が会員料金で参加できるなど、多くの特典があります。

お問い合わせ・申込み

〒358-8511

入間市豊岡1-16-1(入間市役所自治文化課内)

入間市国際交流協会 事務局 ☎04-2964-1111(内線2146・2147)

E-mail: isociety@m.ictv.ne.jp

入間市国際交流協会ホームページ

アドレス: <http://www2.city.iruma.saitama.jp/i-society/>

入間市国際交流協会 facebook ページ(右 URL コード)

アドレス: <https://www.facebook.com/isociety2012>

